

早春の藤沢宿・江ノ島参詣道の文化財探訪

実施日	2020年2月13日(木) 小雨のち晴れ	参加者	15名	文責	まちだ史考会文化財調査
概要	藤沢宿は東西に東海道を軸に八王子・厚木に通じる大山道も兼ねた道、鎌倉道、江ノ島参詣道が交差しており、産業・経済・交通・観光などの拠点であった。 時宗総本山遊行寺はじめ寺社及び神社が所在している。宿及び周辺には庚申塔が多く点在している謎解きも興味深いものです。				
コース	町田駅＝小田急線・急行＝大和駅乗換え＝藤沢本町駅―白旗神社―妙善寺―永勝寺―莊巖寺―常光寺・庚申塔―遊行寺(昼食)―観応院―諏訪神社―庚申堂―小田急藤沢駅＝小田急線＝町田駅				



白旗神社拜殿



白旗神社の庚申塔群



白旗神社石段下の狛犬



源義経公の首塚



妙善寺本堂



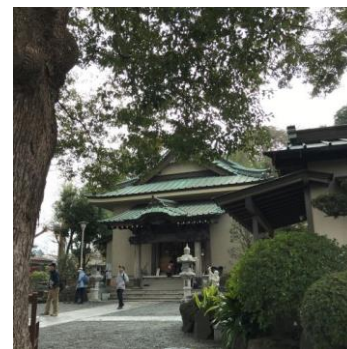
永勝寺の山門



飯盛女の墓 (永勝寺境内)



常光寺の山門



常光寺本堂



江ノ島弁財天道標



諏訪神社拝殿



遊行寺本堂



遊行寺本尊



遊行寺本堂の前にて

見 所

- 白旗神社：義経を祀っています。大きな鳥居と狛犬が迎えてくれます。秋祭りには湯立神楽が催される。神社に向かって左側には江ノ島弁財天道標や庚申塔群が在る。
- ・妙善寺：日蓮宗、鎌倉妙本寺末、文永八年(1271)日蓮が佐渡遠流の途中立ち寄った真言宗真蔵院の住持長藤が弟子となり日蓮宗に改宗したとされる。
- ・永勝寺：浄土真宗、飯盛女の墓 39 基在る。旅籠屋を営んで小松屋源蔵が施主。
- ・莊嚴寺：高野山真言宗、創建は元暦元年(1184)藤沢宿で最も古い寺のひとつ。かつては、当時は白旗神社の別当寺であり、明治八年(1875)現在地に移った。
- 常光寺：浄土宗、鎌倉光明寺末、創建は元龜三年(1572)、開山光誉。
本尊：阿弥陀如来立像(寄木造・玉眼・金箔、像高 99cm)三尊を形成している。
市有形民俗文化財に指定されている庚申塔(万治二年/1659)はじめ庚申塔群や弁慶塚がある。山門脇に石碑「藤沢警察署発祥の地」、本堂左手には詩人野口米次郎の記念碑が在る。
- ◎遊行寺：時宗・総本山、藤沢山清浄光寺、開山呑海が正中二年(1325)に藤沢道場として開かれた。大鋸(だいきり)橋を渡り柵形(防衛上の区画)を通り境内にはいる。国宝「一遍聖絵」など多数の宝物がある。国指定史跡「藤沢敵味方供養塔」、県指定重文の「梵鐘」、長生院の小栗判官・照手姫の墓など。在る。

◇文化財調査グループへのご案内◇

町田市域の文化財は、同じ境川流域である相模国と古くから影響しあっており、また当然江戸文化にも多大な影響を受けています。文化財調査グループでは、町田市域のほか相模国や江戸も含めて調査域として活動しています。毎年春・秋には広域文化財調査探訪(境川流域など)や花のお江戸探訪シリーズ(両国など)を計画しています。ご興味のある方、一緒に調査探訪しましょう。(連絡先：文化財調査グループ 野田 042-723-0615 芹川 042-726-8391 竹澤 042-734-5805) 以上